

平成30年5月17日  
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題 「出雲地域GAP推進協議会」によるGAPの推進

(ダイジェスト)

出雲市では、安全・安心な農産物を生産するとともに、効率的な農業経営を行うため、GAP導入の機運が高まっていますが、関係機関・団体が連携して一体的な推進を図るため、「出雲地域GAP推進協議会」が設立されました。

協議会の活動をとおして、GAPの推進及び美味しまね認証の取得促進を図ります。

出雲市では、新規事業である「出雲農業未来の懸け橋事業」でGAP推進に関するメニューが設けられるとともに、JAしまね出雲地区本部ではGAP推進リーダーが配置され、同斐川地区本部でもGAP指導員を増加する等、GAPの推進体制が整備されつつあります。

既にJAしまね出雲地区本部の部会では、青ネギ部会、アスパラガス部会、しいたけ部会で美味しまね認証(団体認証)が取得され、他の部会でもGAP導入が検討される一方、畜産農家や野菜農家の個人認証取得も多く、斐川町の大型稲作法人も取得準備を開始する等GAP導入の機運が高まっています。

さらに、県立出雲農林高校ではグローバルGAPの取得を計画されており、関係機関・団体による一体的な支援が必要となったことから、5月14日に「出雲地域GAP推進協議会」が設立されました。

この構成員は、出雲市、JAしまね出雲地区本部・斐川地区本部、出雲農林高校、東部農林振興センター出雲事務所で、当日は、規約の確認と、GAP・美味しまね認証の取得予定者に対する支援方法、国事業等の情報共有、環境直払制度におけるGAP導入支援、出雲農林高校のグローバルGAP取得計画等について協議されました。

今後は、この協議会で情報共有と具体的支援内容・方法を協議しながら、GAP・美味しまね認証の普及・拡大を図ることとし、普及部としても、GAP・美味しまね認証を安全・安心な農産物生産はもとより、普及活動における産地育成・経営改善の有効な手法として積極的に取り組んでいくこととしています。

注) 美味しまね認証

島根県独自のGAP基準を実践していることを、知事が認証する県GAP認証